

マルバマンサク (学名: *Hamamelis japonica var. obtusata*)

[マンサク科 マンサク属]



▲マルバマンサクの花



▲マルバマンサクの果実

マルバマンサクは、北海道の西南部、東北地方～鳥取県の日本海側に分布する落葉低木です。関東西部より西側の本州、四国、九州の太平洋側に偏って分布するマンサクの変種にあたり、葉の先端が丸く扇を広げたような形をしている点から名前にマルバと付き区別されています。日本海側の多雪環境に適応しており、枝がしなやかで雪に埋もれても折れることはありません。葉は厚みがあり、葉の裏側の葉脈が分岐するわきに星状毛(1点から放射状に伸びる毛)が見られます。マンサクの名前の由来には諸説あり、葉を広げる前に花を咲かせる様子から「まず咲く」が訛^{なま}ってマンサクとなったという説があります。

マルバマンサクは雪解けとともに黄色の紐状の花びらを持つ花を咲かせます。山の斜面に多く見られ、雪崩斜面などの雪解けの早い場所では3月中旬頃でも花を見ることができます。只見町では、「まんさく」と呼ばれ、燃料材や樹皮が丈夫なことから稲を架けるハデ場の木や材木を結束するのに使われていました。また、「まんさくの花びらが長い年は豊作になり、短い年は不作になる」と言われています。4月になり様々な花が咲き始める前にマルバマンサクは一足早く春の訪れを告げてくれます。

企画展

「守りたい！只見の野生動植物

—只見町の野生動植物を保護する条例—

期 間:6月25日(月)まで

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

自然観察会

「春植物を愛でる！」(定員30名・要事前申込)

日 時:5月4日(金・祝) 13:00~15:00

観察地:黒谷川沿い林道

集合場所:朝日振興センター(12:30集合)

参加費:高校生以上500円、小中学生400円(保険料含む)

「残雪のブナ林を歩く！」(定員30名・要事前申込)

日 時:5月5日(土・祝) 10:00~14:00

観察地:癒しの森

集合場所:森林の分校ふざわ(9:30集合)

参加費:高校生以上500円、小中学生400円(保険料含む)

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください